

福島県の災害 - 日本の子供の汚染に関する新たなデータ

ACROは日本の子どもたちの尿を再度分析した。その結果は明白なものである：福島の子どもの尿からは汚染は発見されなかった。一方で東京とその周辺の子どもの尿からは汚染は発見された。

保護者により避難させられた福島の子どもの尿の汚染は低下した。子どもの保護者達は汚染を減らそうと精一杯の努力をしているにもかかわらず、環境中への大量の放射性物質の放出から4か月以上もたった後で、他の子どもたちは未だ汚染されている。この原因は食物の可能性が大きい。

結果の詳細は解説とともに我々のウェブサイトに掲載している：<http://acro.eu.org>

日本政府により実施された検査では福島の子どもの尿の約半数が汚染されているとしているが、我々の結果では100%である。このことは日本政府の測定精度が不十分であり全ての汚染を検出していないことによる。

福島の子どもの尿の内部被ばくを正確に、系統的にかつ定期的に監視することが重要である。家族はこの汚染を減らすことができるように放射能の測定結果について知ることができなければならない。